

◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が6例(10歳未満女性2例, 30歳代男性および女性各1例, 60歳代および70歳代女性各1例)ありました。本年の累積報告数は29例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性1例)ありました。症状は尿路感染症で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は21例となりました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり, 症状はショック, 肝不全, 腎不全, DIC, 軟部組織炎, 全身性紅斑性発疹です。本年の累積報告数は6例となりました。
- 梅毒の報告が1例(40歳代男性1例)(第26週追加報告分)ありました。症状は初期硬結で, 感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は41例となりました。
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 腹膜炎です。感染地域は国内です。本年初めての報告例です。
- 百日咳の報告が5例(10歳未満男性1例, 10歳代男性3例および女性1例)(第28週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は72例となりました。
- 手足口病の定点当たり報告数は前週11.44(492例)から7.00(301例)と減少しました。しかしながら第24週からの警報は継続中です。こまめな手洗い, タオルを共有しないなど予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス: <蚊媒介感染症>

蚊媒介感染症とは, 病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことで, ウイルス疾患であるジカウイルス感染症, チクングニア熱, デング熱, 日本脳炎, 原虫疾患であるマラリアなどがあります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 5例(肺結核 4例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 172例(肺結核 73例, その他結核45例, 潜在性結核感染者 54例)うち喀痰塗抹陽性 37例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 6例【1月以降の累積報告数 29例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 21例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 41例】
- 五類:バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類:百日咳 5例【1月以降の累積報告数 72例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

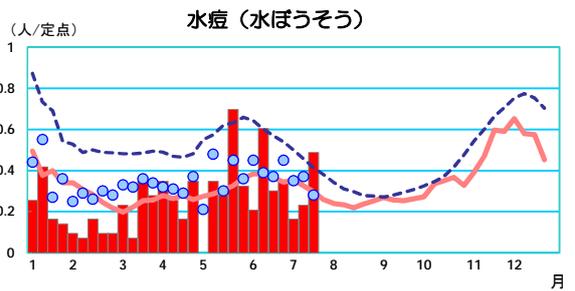
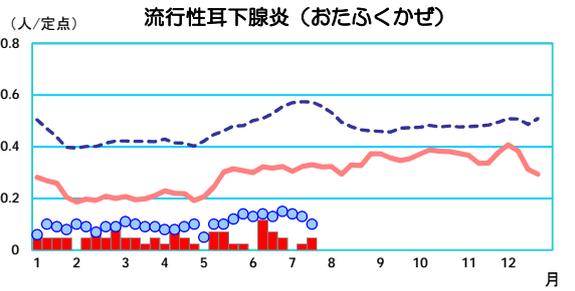
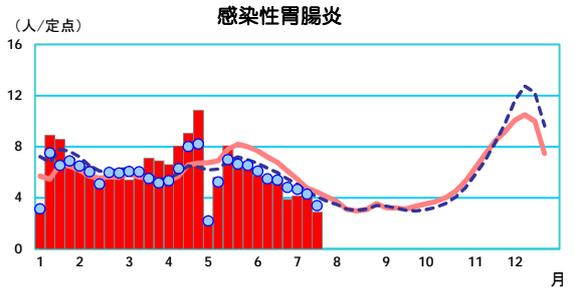
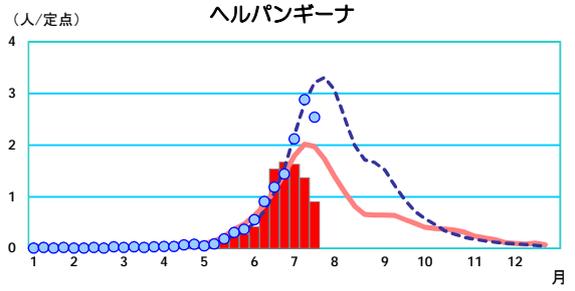
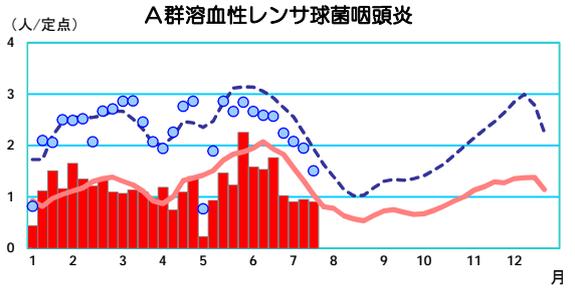
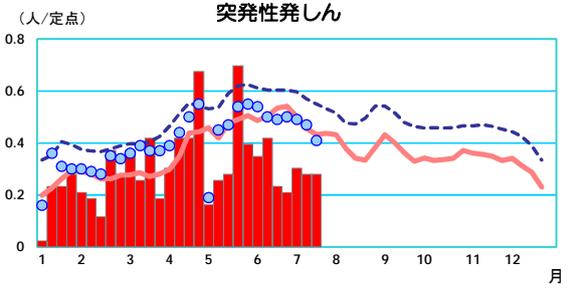
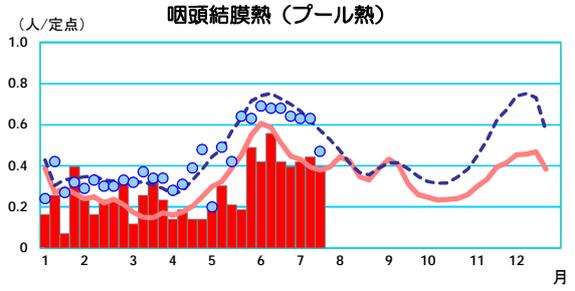
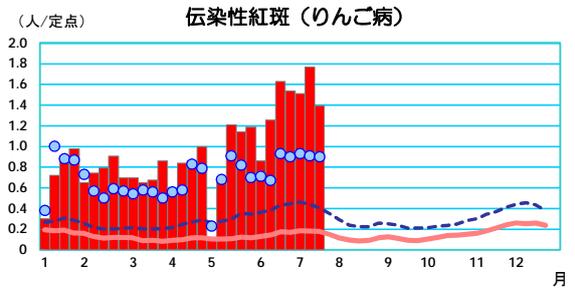
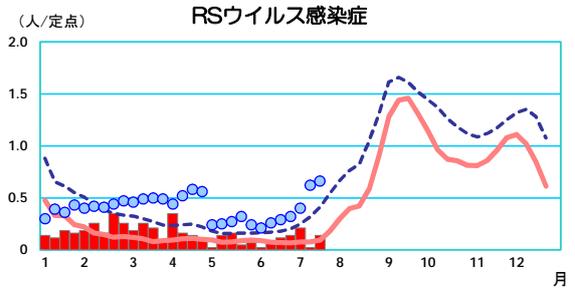
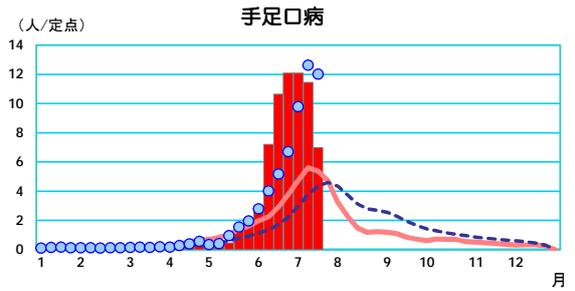
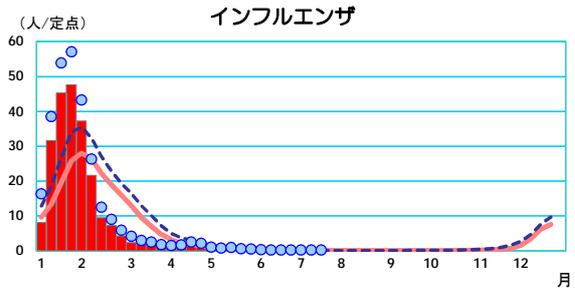
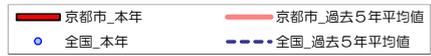
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	7.00	301
	② 感染性胃腸炎	2.88	124
	③ 伝染性紅斑	1.40	60
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	39
	④ ヘルパンギーナ	0.91	39
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <蚊媒介感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2019年7月24日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第29週(7月15日～7月21日)トピックス: <蚊媒介感染症>

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことで、ウイルス疾患であるジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱、日本脳炎、原虫疾患であるマラリアなどがあります。

日本における蚊媒介感染症の年間報告数を過去5年間で感染症別に見ると、ジカウイルス感染症、チクングニア熱及び日本脳炎は少なく、どの年もデング熱とマラリアが大部分を占めています(表1)。これらの疾患は日本脳炎を除いて、海外旅行などで感染し帰国後に発症する輸入感染症がほとんどです。

本年第29週までのデング熱とマラリアの全国の累積発生状況を過去5年と比較してみると、デング熱は2016年に次いで多くなっており、マラリアは平均的な推移となっています(図2及び図3)。

これらの疾患を媒介する蚊は、一般に気温の上昇と共に活動が活発になります。日本では本格的な夏を迎え、蚊に刺される機会も増えると考えられます。一方、世界的に見ると年間を通じて気温が高く、蚊の活動も通年の地域があり、デング熱及びマラリアの感染地域と重なっています(図4及び図5)。

夏休みで海外で過ごす方も多くなります。旅行先で蚊媒介感染症にかからないために、感染の可能性が高い地域に旅行する場合は前もって現地の情報や感染症の知識を得るようにしましょう。海外で注意しなければいけない感染症については、厚生労働省検疫所のホームページ「FORTH(フォース)」には最新の情報が提供されています(<http://www.forth.go.jp/index.html>)。

京都市衛生環境研究所でも、ホームページ上で蚊に関する情報を紹介していますので、ぜひ御覧ください。

【京都市情報館】京都市衛生環境研究所にゆーす(平成28年度 第1号) 蚊の特集～身近にある大きな脅威

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000227/227333/news28-01.pdf>

【京都市情報館】蚊が媒介する感染症について 京都市保健福祉局医療衛生推進室健康安全課

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000202072.html>

表1 京都市及び全国の蚊媒介感染症の報告数

		2014	2015	2016	2017	2018	2019 (29wまで)
ジカウイルス感染症	京都市	2016年2月から		0	0	0	0
	全国	四類感染症(全数把握)		12	5	0	0
チクングニア熱	京都市	0	0	1	0	0	0
	全国	16	17	13	5	4	10
デング熱	京都市	5	11	5	5	3	2
	全国	340	292	338	245	201	176
日本脳炎	京都市	0	0	0	0	0	0
	全国	2	2	11	3	0	0
マラリア	京都市	3	0	3	4	1	1
	全国	60	41	54	61	50	25

図1 全国のデング熱累積報告数(2014年～2019年第29週)

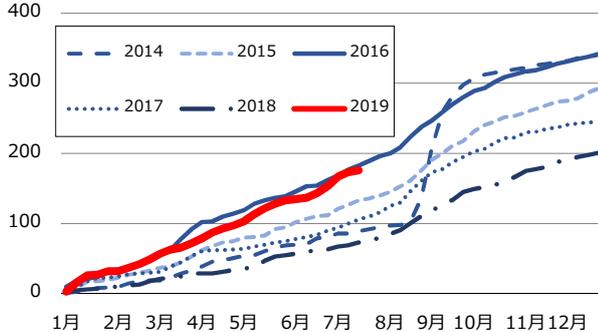


図2 全国のマラリア累積報告数(2014年～2019年第29週)

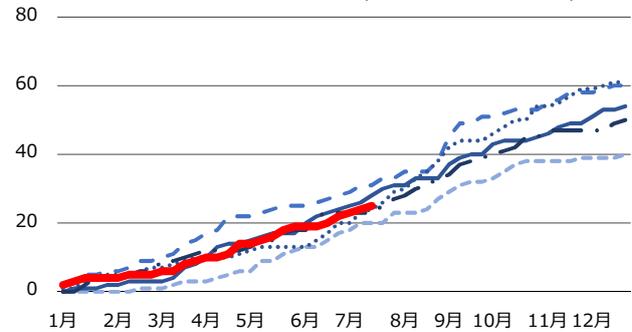


図3 デング熱のリスクのある地域

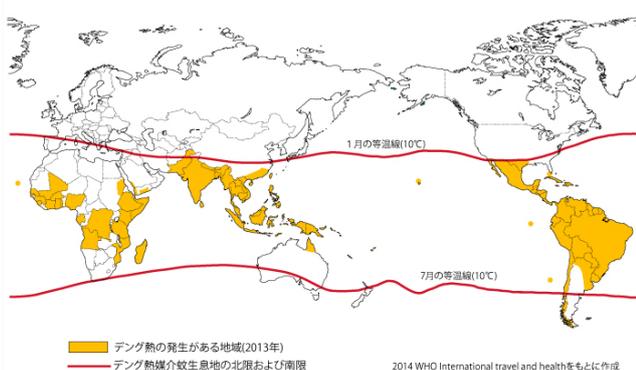
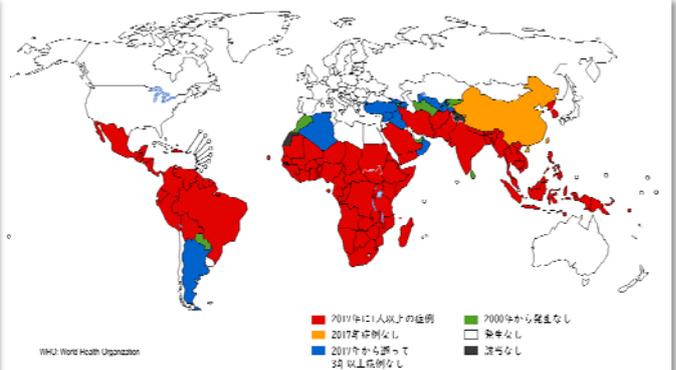


図4 マラリアの発生地域



引用

・厚生労働省検疫所 FORTH: 感染症についての情報 デング熱
<https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name33.html>

引用 (一部改変)

・WHO: World malaria report 2018 <https://www.who.int/malaria/publications/world-malaria-report-2018/report/en/>
・厚生労働省検疫所: マラリアについて <https://www.forth.go.jp/useful/malaria.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第29週

疾病,行政区別報告数

2019年7月15日～2019年7月21日

データ入手日:2019年7月24日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	1	1	1	-	-	-	3	1	-	-	1	-	-					
上京	-	-	-	3	9	3	20	5	1	2	-	-	-					
左京	-	-	2	5	12	1	50	20	3	6	-	-	-					
中京	3	-	-	-	2	-	17	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	20	-	7	-	1	-	1							
山科	-	-	1	2	-	-	50	4	-	11	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-							
南	-	-	-	-	4	3	19	8	2	1	-							
右京	-	4	6	16	19	10	41	1	-	4	-	-	-					
伏見	-	1	4	12	37	3	68	16	2	8	-	-	-					
西京	2	-	3	1	21	1	26	3	1	3	-	-	-					
京都市計	6	6	17	39	124	21	301	60	12	39	2	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	0.14	0.25	0.25	-	-	-	0.75	0.25	-	-	0.25	-	-					
上京	-	-	-	1.00	3.00	1.00	6.67	1.67	0.33	0.67	-	-	-					
左京	-	-	0.50	1.25	3.00	0.25	12.50	5.00	0.75	1.50	-	-	-					
中京	0.60	-	-	-	0.67	-	5.67	0.33	0.67	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10.00	-	3.50	-	0.50	-	0.50							
山科	-	-	0.20	0.40	-	-	10.00	0.80	-	2.20	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-							
南	-	-	-	-	1.33	1.00	6.33	2.67	0.67	0.33	-							
右京	-	0.80	1.20	3.20	3.80	2.00	8.20	0.20	-	0.80	-	-	-					
伏見	-	0.14	0.57	1.71	5.29	0.43	9.71	2.29	0.29	1.14	-	-	-					
西京	0.25	-	0.60	0.20	4.20	0.20	5.20	0.60	0.20	0.60	-	-	-					
京都市計	0.09	0.14	0.40	0.91	2.88	0.49	7.00	1.40	0.28	0.91	0.05	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第29週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年7月15日～2019年7月21日

データ入手日:2019年7月24日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	6	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	6	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		17	-	-	2	4	4	1	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	-	-	-	5	8	7	4	5	1	1	3	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		124	-	10	17	17	15	15	9	2	7	5	3	16	1	7	-	-	-	-	-	-	-
水痘		21	-	-	2	-	-	1	2	6	5	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		301	2	36	107	60	37	28	12	6	1	4	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		60	-	1	4	2	6	14	12	4	8	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	3	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		39	-	6	13	8	5	3	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.09	-	0.01	-	-	-	-	0.01	-	0.01	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	-	0.09	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.40	-	-	0.05	0.09	0.09	0.02	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	-	-	-	0.12	0.19	0.16	0.09	0.12	0.02	0.02	0.07	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.88	-	0.23	0.40	0.40	0.35	0.35	0.21	0.05	0.16	0.12	0.07	0.37	0.02	0.16	-	-	-	-	-	-
水痘		0.49	-	-	0.05	-	-	0.02	0.05	0.14	0.12	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		7.00	0.05	0.84	2.49	1.40	0.86	0.65	0.28	0.14	0.02	0.09	-	0.07	-	0.12	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1.40	-	0.02	0.09	0.05	0.14	0.33	0.28	0.09	0.19	0.09	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	-	0.07	0.16	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.91	-	0.14	0.30	0.19	0.12	0.07	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第29週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年7月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	17	10	8	6	3	6
RSウイルス感染症	3	5	6	9	1	6
咽頭結膜熱	24	18	17	18	19	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	76	44	39	41	39
感染性胃腸炎	230	233	167	179	182	124
水痘	26	13	15	7	10	21
手足口病	310	458	520	520	492	301
伝染性紅斑	54	70	66	65	76	60
突発性発しん	18	10	9	13	12	12
ヘルパンギーナ	42	66	72	70	59	39
流行性耳下腺炎	5	3	2	-	1	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	8	1	3	6	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	2	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	798	972	927	929	902	627

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.25	0.14	0.12	0.09	0.04	0.09
RSウイルス感染症	0.07	0.12	0.14	0.21	0.02	0.14
咽頭結膜熱	0.56	0.42	0.40	0.42	0.44	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.53	1.77	1.02	0.91	0.95	0.91
感染性胃腸炎	5.35	5.42	3.88	4.16	4.23	2.88
水痘	0.60	0.30	0.35	0.16	0.23	0.49
手足口病	7.21	10.65	12.09	12.09	11.44	7.00
伝染性紅斑	1.26	1.63	1.53	1.51	1.77	1.40
突発性発しん	0.42	0.23	0.21	0.30	0.28	0.28
ヘルパンギーナ	0.98	1.53	1.67	1.63	1.37	0.91
流行性耳下腺炎	0.12	0.07	0.05	-	0.02	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.80	0.10	0.30	0.60	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	18.64	25.08	21.56	21.78	21.41	14.53

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。